

船舶事故等調査報告書

平成21年6月25日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008横第129号	
事故等名	貨物船智勝丸運航阻害	
発生年月日時刻	平成20年10月28日06時20分ごろ	
発生場所	茨城県常陸那珂港内	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年12月17日横浜・地方事故調査官が海難報告書入手、12月18日運航管理者及び船舶所有者から損傷及び修理状況等を口述聴取、平成21年3月17日船舶所有者から修繕費用明細書写入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	船種・船名・総トン数 貨物船 智勝丸 498トン 船舶番号(IMO 番号) 132063 船舶所有者等 大泊海運有限会社	
乗組員等に関する情報	機関長 三級海技士(機関) 船長 四級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	主機排ガスエコマイザの水管が破孔	
事故等の経過	本船は、銅板1,300トンを積載して茨城県常陸那珂港に入港錨泊し、接岸準備のため、主機のエアランニングを行おうとしたところ、平成20年10月28日06時20分ごろ、6番シリンダ指圧器弁からの漏水を発見した。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり あり 点検の結果、主機排ガスエコマイザの水管が、ヘッダー付け根で腐食破孔していることが判明した。ボイラ水が同破孔部から漏洩して、排気管を逆流し、過給機、空気冷却器及び給気マニホールドを経て、主機の燃焼室内に流入したものと考えられる。
原因	本インシデントは、主機排ガスエコマイザの水管が経年劣化により、ヘッダー付け根で腐食破孔したため、ボイラ水が漏洩して、主機の燃焼室内部に流入したことにより発生したものと考えられる。	
その他の事項	本インシデント後、主機排ガスエコマイザの水管は、破孔した水管を閉塞して応急修理し、後日、水管の全数新替えを実施することとした。	